



県内大学における 生理用品無償配布アンケート結果

神奈川県いのち・未来戦略本部室

SDGs連携グループ

2022.11.30

目次

1 アンケート概要

2 アンケート結果

3 まとめ



1 アンケート概要

配布大学
(配布数)



神奈川大学 (5,300袋)
関東学院大学 (3,800袋)
東海大学 (7,900袋)

アンケート
集計期間



2021年12月17日～2022年10月31日

回答数

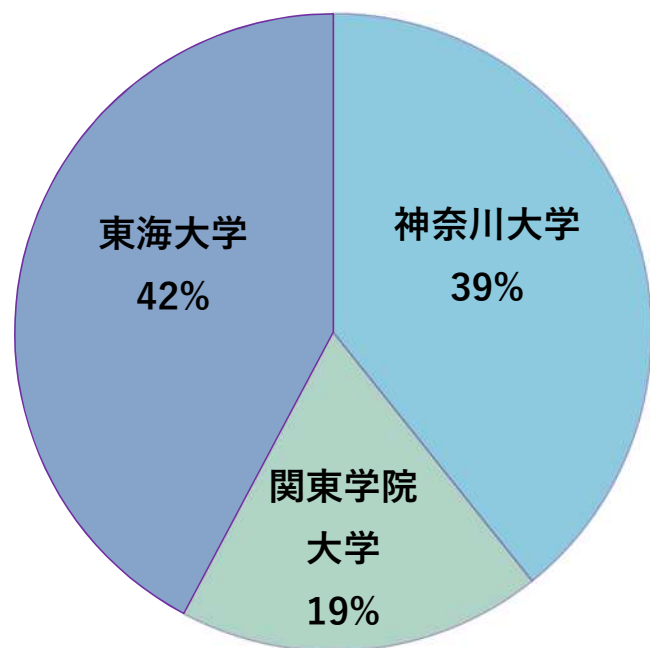


135 件 (回答率0.8%)

2 アンケート結果① 学生属性

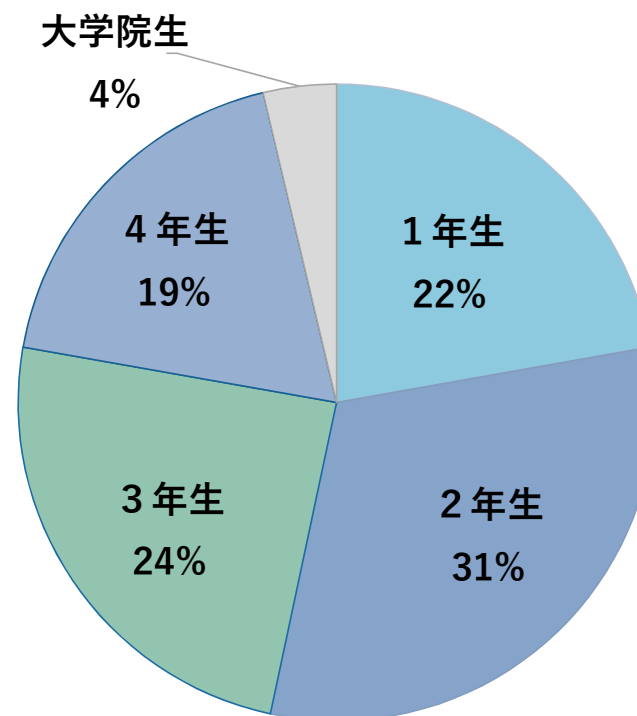
所属大学

(n=135)



年次

(n=135)

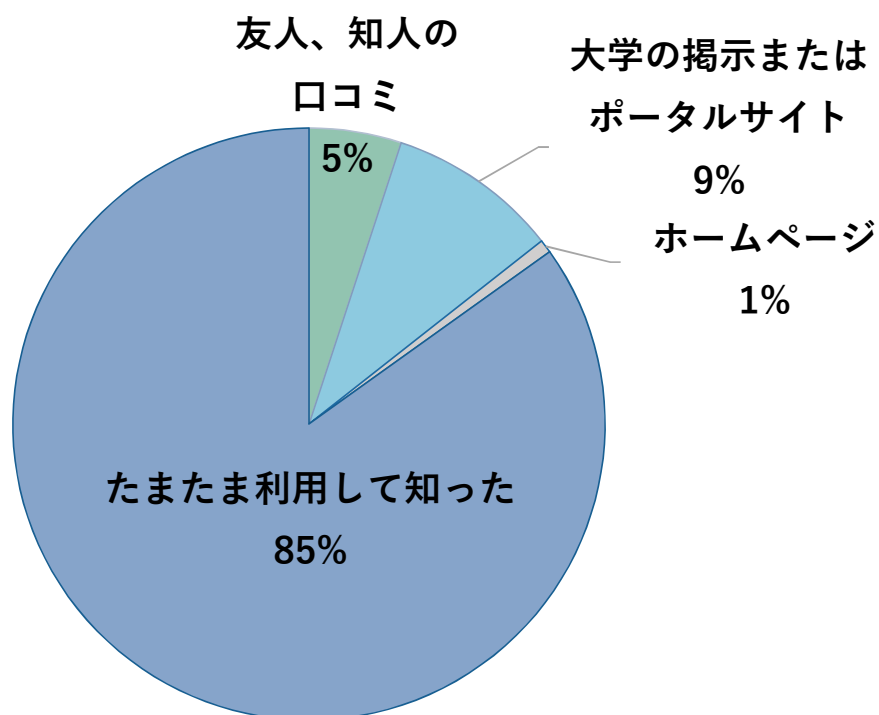


2 アンケート結果②

生理・「生理の貧困」関係

無料配布を何で知ったか

(n=135)



生理用品があることで在校時間は安心か

(n=135)

そう思う	130人
そう思わない	0人
どちらとも言えない	5人

2 アンケート結果③

生理・「生理の貧困」関係

手元に無くて困ったことはあるか

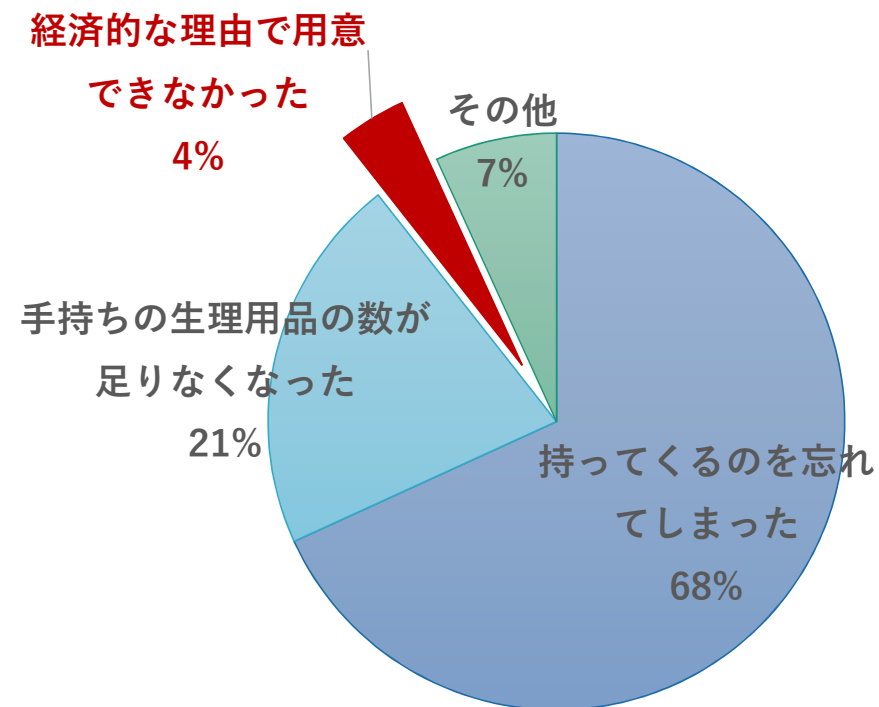
(n=135)

ある 132人

ない 3人

具体的な理由

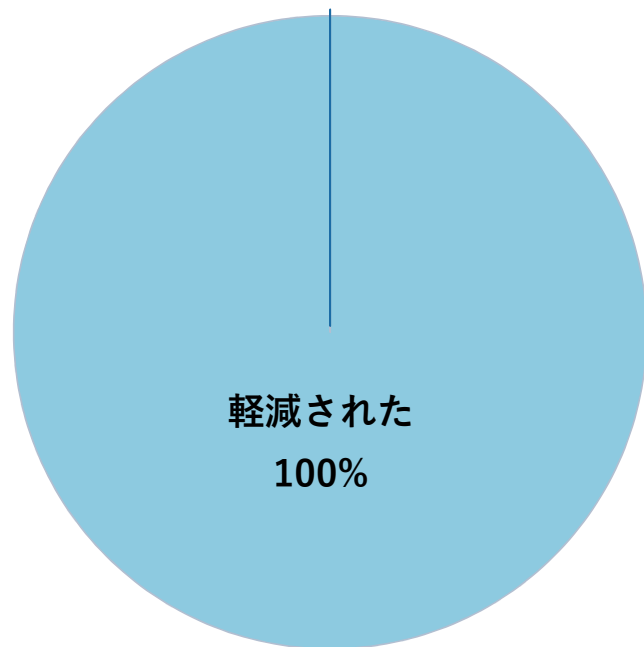
(無くて困ったことがあると回答した人のみ) (n=132)



2 アンケート結果④ 生理・「生理の貧困」関係

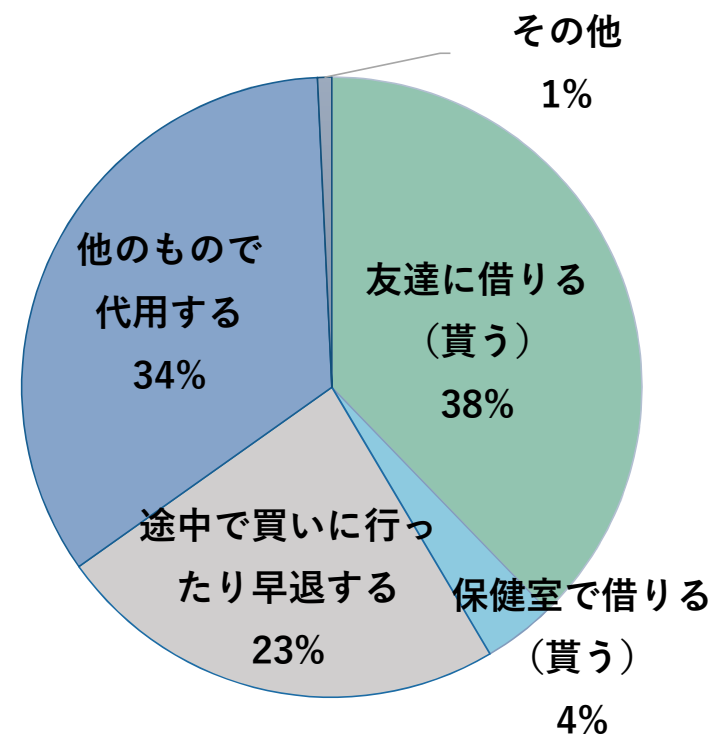
生理用品確保の不安は軽減されたか

(経済的な理由で用意できなかったと回答した人のみ) (n=5)



手元がない場合の対処方法

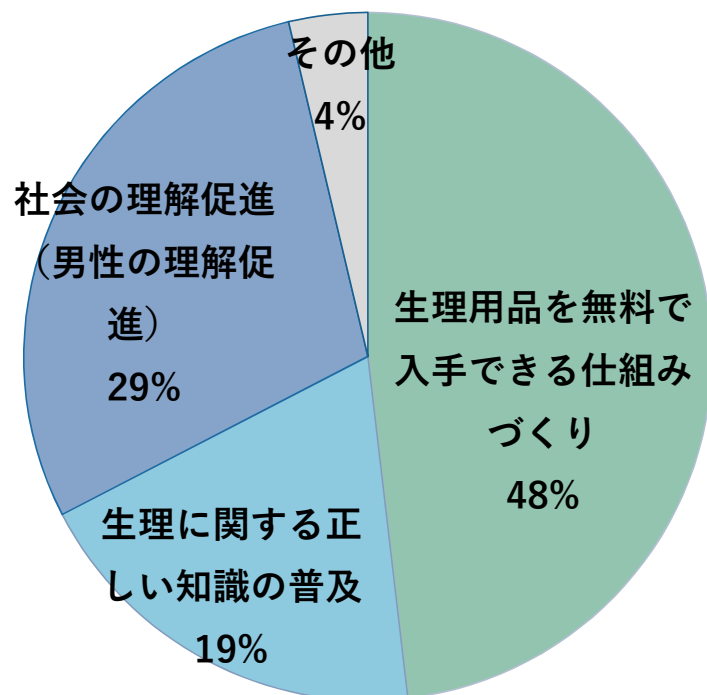
(n=135)



2 アンケート結果⑤ 生理・「生理の貧困」関係

「生理の貧困」の課題解決に一番重要だと思うことは何か

(n=135)



【その他】

- 女性自体が貧困の状況に置かれやすいので、男女の賃金格差の是正、ジェンダー平等、母子家庭への給付など**包括的な貧困対策**が必要。
- 同じ**女性からの理解促進**も。
- 生理に関する**商品の価格を下げる**こと。
- 軽減税率の適用。

2 アンケート結果⑥ 生理・「生理の貧困」関係

自由意見<抜粋>



感謝／継続・拡大

- 一人暮らしで**経済的にも余裕がない**ので、このような制度がもっと普及すると**女性の負担はかなり無くなる**と思う。
- **生理不順の不安**が、トイレに生理用品を設置するだけで**解消する**ので、この活動が広がって欲しい。
- 生理に対して世の中はなにも進まないと言っていたのですが今回の出来事により少し**未来が明るい**のかなと感じました。



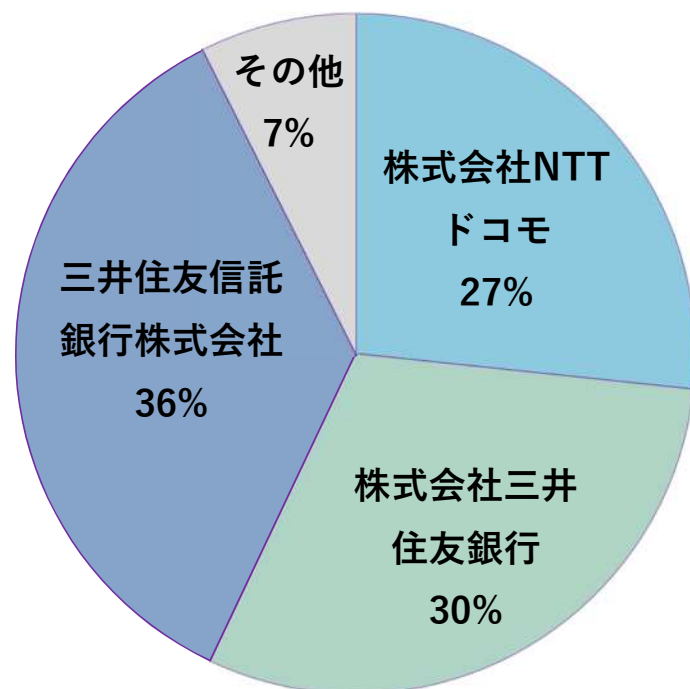
理解促進

- 無料配布だけでなく、**生理への理解**を深める取り組みもやってほしい。
- 生理を女性だけの問題と片付けてしまうのではなく、**全ての人が生理について正しい知識を身に付けていく必要がある**。
- 女性特有の病気や体調不良に**理解と配慮**できる**社会や企業**であってほしい。

2 アンケート結果⑦ 企業関係

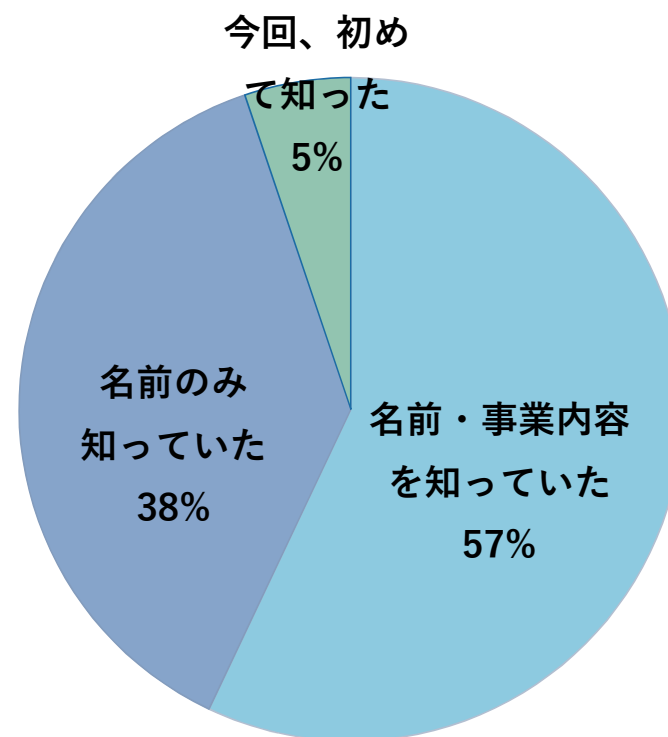
パッケージの企業名

(n=135)



企業を知っていたか

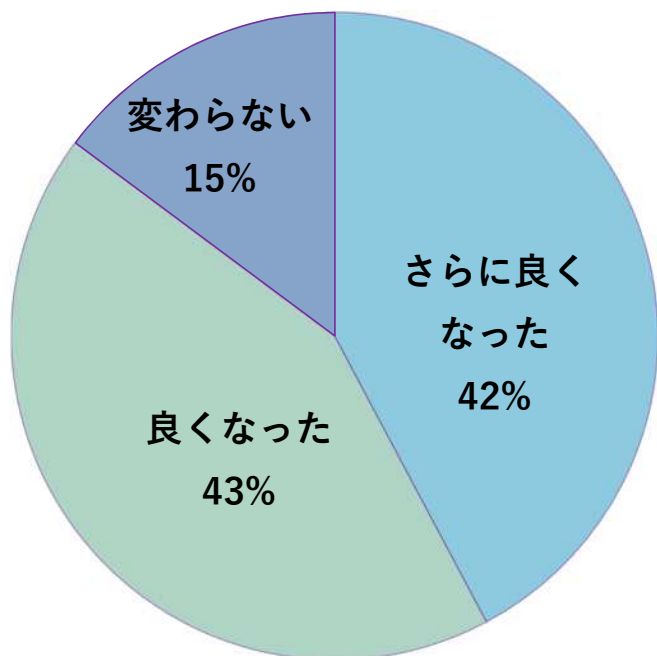
(n=135)



2 アンケート結果⑧ 企業関係

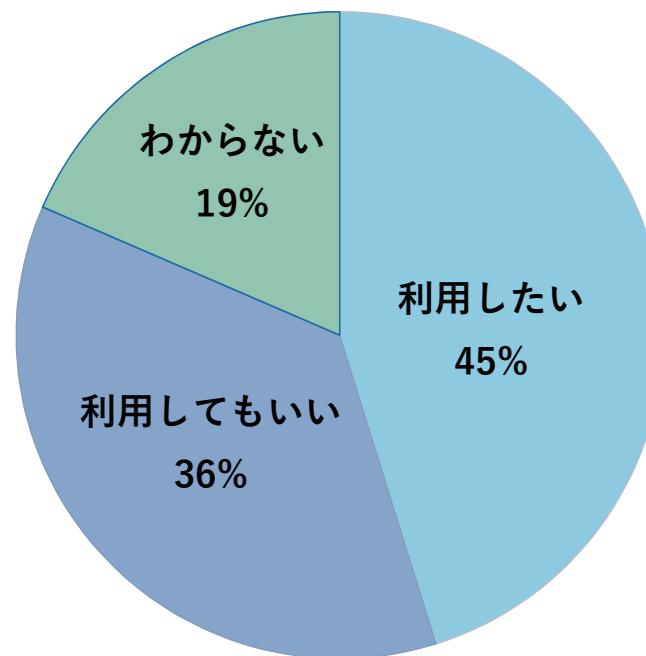
企業への印象は変わったか

(n=135)



商品やサービスを積極的に利用したいか

(n=135)



3 まとめ

- ✓ 9割以上が生理用品が手元に無くて困ったことがある。
- ✓ 「経済的な理由で用意できなかった」ことがある学生は4%
- ✓ 生理用品があることで、9割以上が**在校時間を安心して過ごせている**とともに、「経済的な理由で用意ができなかった」学生の全員が生理用品の確保に対する**不安が軽減**された。
- ✓ **無償配布の継続・拡大**を望む声や、**生理に対する理解促進**を望む声がある。
- ✓ 8割以上が今回の取組に**賛同した企業への印象が良くなっている**とともに、当該企業の商品・サービスを「利用したい・利用してもいい」と思う学生も8割を超えている。